

茨城県

# 育成会だより

第 138 号

発行日 令和元年7月10日  
 発行 一般社団法人  
 茨城県手をつなぐ育成会  
 編集 広報委員会  
 事務局 〒310-0851 水戸市千波町1918  
 茨城県総合福祉会館内  
 ☎ 029-243-3838  
 FAX 029-243-3854  
 URL <http://www.ibaikuseikai.com/>  
 e-mail [iba-ikuseikai@bz03.plala.or.jp](mailto:iba-ikuseikai@bz03.plala.or.jp)



しろがね苑 外観



お菓子の袋詰め作業



農作業班



施設外就労 除草作業

社会福祉法人白銀会

知的障害者授産施設しろがね苑

苑長 大山 修一

当施設は、石岡市鹿の子の地に平成3年社会福祉法人白銀会により開所しました。現在は、施設入所支援・就労移行支援・就労継続支援B型・自立訓練を主なサービスとした障害者支援施設です。

作業訓練は、農作業・清掃作業・簡易加工作業・施設外就労など多種目のメニューを提供しており、利用者の習熟度に合わせたステップアップ方式で着実にスキルを身に付けられるよう支援しております。生活面でも、「自分のことは自分でする」ということを基本に、身の回りのことはもちろんのこと、公共交通機関の利用やお金の使い方など自立生活に必要な支援を行っております。

再来年に30周年を迎えますが、開所当時から一般就労として地域移行を進め、現在の利用者平均年齢が30歳であるのは全国的にも少なく、**通過施設としての役割を果たしている結果だと思えます。**

法人としては、しろがね苑の他、障害福祉サービス事業所を4事業所、グループホームを12カ所、障害者生活支援センター事業、相談支援事業、居宅介護事業等を運営しております。今後も「働くこと」を中心に、利用者が自分に合った社会参加と暮らしを実現できるよう、総合的な支援を提供したいと考えております。

(連絡先) 石岡市鹿の子4-16-52 電話: 0299-22-3215)



この印刷物は共同募金配分金の一部が使われています

# “令和”初の総会を活発に開催

## 令和元年度事業計画を発表

土浦市手をつなぐ育成会 渡辺 征

### 《活発な質疑応答》

一般社団法人茨城県手をつなぐ育成会の、令和に入って初めての総会が、6月6日（木）10時から、水戸市の県総合福祉会館の大研修室で、単位育成会会長を始めとする関係者を集め行われました。冒頭の矢野会長のあいさつの要旨は5ページを参照ください。

議決事項は、全部で5項目でした。第1号・2号議案（“平成30年度”事業報告・決算報告）および第3号・第4号（“2019年（令和元年）度”事業計画案・収支予算案）が、それぞれ全員の拍手の賛向で可決されました。

それぞれの議案に関して、出席者からいくつもの質問が出され、事務局中心に誠意ある回答が述べられました。質問の一部は、一見細かすぎる点に触れているようにも思われましたが、それは質問者が細部にまで資料を読みこもうとする姿勢が根底にあると、取材者として伺えました。第5号議案（役員の補選）については、原案どおり2名の新理事が承認され、総会は12時45分に終了しました。

なお、来賓としてお越しいただいた県障害福祉課副参事・齋藤正博様と県教育庁学校教育部特別支援教育課長・内桶博仁様から、育成会の今後のますますの発展に期待している旨のありがたい激励の言葉をいただきました。

### 《午後には ブロック会議》

総会が終了したのち、昼食をはさみ、地域別の5ブロック（県北・県中・鹿行・県南・県西）に分かれて、特に今回は、県育成会の重点事項の一つである「心のとも運動」を中心に熱心な討議が行われました。

## 2019年（令和元年）度事業計画の概要

【詳細については、県育成会のホームページをご覧ください】

### 1. 基本方針の概要

県育成会は、共生社会の実現と障害福祉の向上をめざして、次の事項を基本方針として活動を展開していきます。

- (1) 行政への要望および県民啓発活動の強化
- (2) 権利擁護の推進
- (3) 地域育成会への充実した情報提供
- (4) 特別支援教育発展の取り組み
- (5) 関係機関との連携強化
- (6) 会員拡大の取り組み
- (7) 第19回全国障害者スポーツ大会への協力と参加の推進
- (8) 組織の活性化と財源の確保

(2019年度重点テーマ) 特に、今年度は、次のテーマを重点に取り組みます。

- ①「心のとも運動」の強化
- ②特別支援学校との交流事業の推進
- ③ホームページの活用による地域育成会への充実した情報提供

### 2. 組織の強化

- ・総会：定款第15条に規定する事項を決議するため、各会員(単位育成会会長)による総会を開催する。
- ・理事会：総会で選出された理事からなる事業の執行機関として、総会に諮る事項の調整および総会で決定した事項の執行。
- ・委員会：前年からの6委員会を踏襲。総務委員会は、各委員会の企画案を審議し調整を図る。
- ・地域育成会：県育成会と地域育成会との連携を強化するとともに、地域育成会同士の連携を促進する。
- ・特別支援学校保護者等との交流事業の推進を図る。

### 3. 県等への要望活動

### 4. 財政基盤の確立

- ・「心のとも運動」の実施。理事が中心となり、小中学校への訪問による働きかけを実施する。
- ・賛助会員の加入促進

### 5. 事業活動

変化する障害福祉制度などの理解を深めるとともに、会員の質的レベルアップを図るため、質の高い研修会を積極的に開催する。

### 6. 育成会茨城大会の開催および全国研修会等への参加

### 7. 本人活動への支援

障害者の福祉増進を図り、生きがいづくりや社会参加等を促進するため、次の事業を展開する。

- ・ボランティア活動参加促進事業の実施・本人交流会への支援・障害児教育活動に対する支援

### 8. スポーツ・文化行事への参加

県スポーツ文化協会が行なう事業に参加し、障害者の自立と生きがいづくりを支援する

- ・いきいき茨城ゆめ大会（第19回全国障害者スポーツ大会）への協力。（6ページ参照）
- ・ナイスハートふれあいフェスティバルへの協力。

### 9. 社会啓発活動と情報提供

- ・会報「育成会だより」の年3回（7・12・3月）発行
- ・ホームページによる会員への最新情報の提供および県民等への啓発の実施
- ・全国手をつなぐ育成会連合会や関係機関・団体等からの情報収集と提供

### 10. 茨城県障害者権利擁護対策推進事業（県からの委託事業）

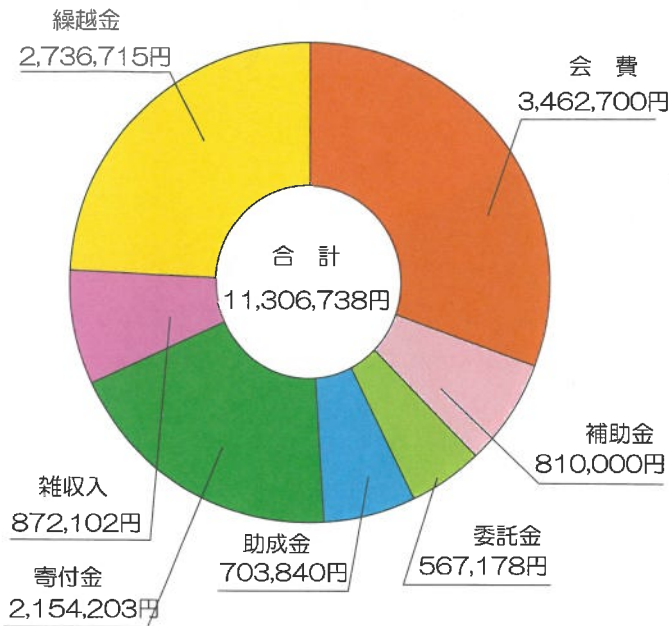
県からの委託を受け、相談員を配置し、①「障害者なんでも相談室」②「茨城県障害者権利擁護センター」を運営する。他に、知的障害者相談員研修会を年2回行なう。

### 11. 茨城県障害者権利条例推進事業（特定相談）〈県からの委託事業〉

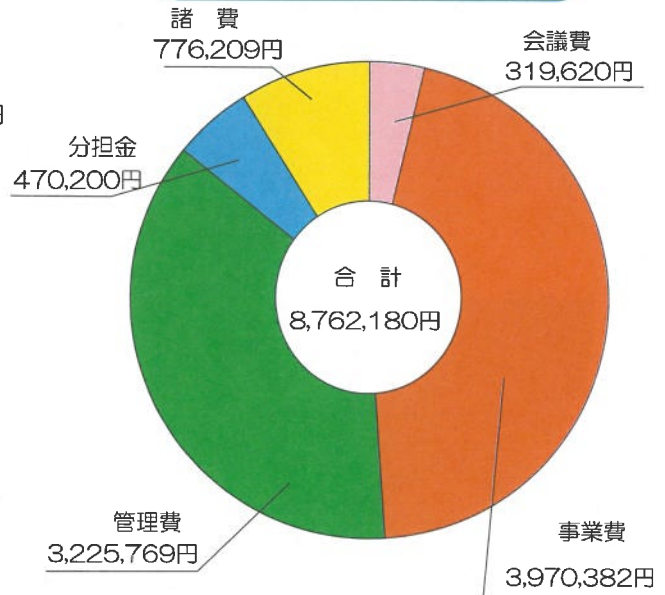
県からの委託を受け、障害のある人に対する差別に関する相談に応じ、関係者間の調整や関係機関との連携を図りながら差別の解消に取り組むため、「茨城県障害者差別相談室」を設置し運営する。27年度運用開始。

# 平成30年度決算報告概要

## 一般会計収入の部グラフ



## 一般会計支出の部グラフ



期間 自：平成30年4月1日  
至：平成31年3月31日  
単位：円

### 【一般会計収入の部】

単位：円

| 項目・収入額                  | 主な内容  |
|-------------------------|---|
| <b>会費</b><br>3,462,700  | 地域育成会 3,298,500<br>福祉協会 10,000<br>特別支援教育研究部 133,200<br>知的障害特別支援学校 18,000<br>賛助会員 3口 3,000                                   |
| <b>補助金</b><br>810,000   | 県補助金 810,000  |
| <b>委託金</b><br>567,178   | ボランティア活動参加促進事業 155,000<br>相談員活動強化事業 412,178   |
| <b>助成金</b><br>703,840   | 共同募金配分金 340,000<br>地方活動助成金 213,840<br>いばらき障害者生活サポート協会 150,000   |
| <b>寄付金</b><br>2,154,203 | 茨城県PTA連絡協議会 100,000<br>茨城県遊技業協同組合 50,000<br>茨城新聞文化福祉事業団歳末愛の募金 150,000<br>心のともし運動 1,854,203                                  |
| <b>雑収入</b><br>872,102   | 銀行利息 63<br>災害義援金 7月豪雨 428,703<br>北海道胆振東部地震 314,816<br>全育連育成会活性化のための研修事業に係る事務手数料 13,000<br>育成会だより広告掲載料 100,000<br>その他 15,520 |
| <b>繰越金</b><br>計         | 平成29年度繰越金 2,736,715<br><b>11,306,738</b>  |

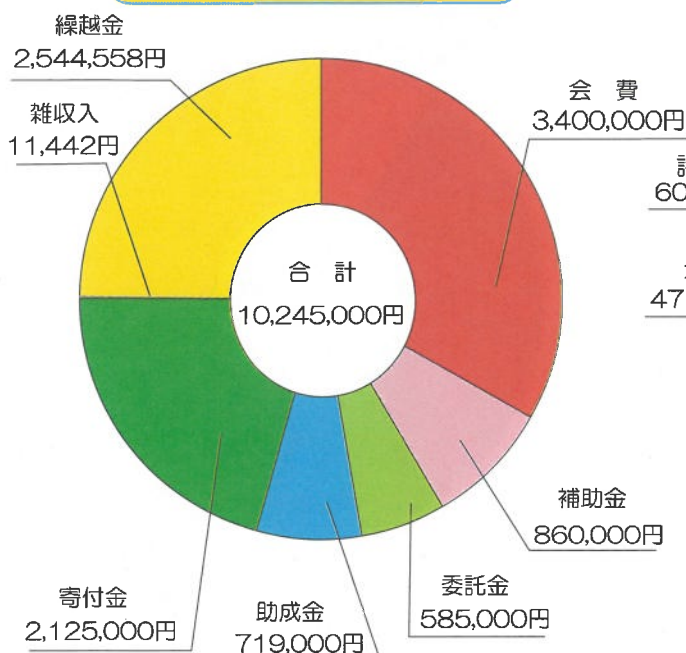
### 【一般会計支出の部】

単位：円

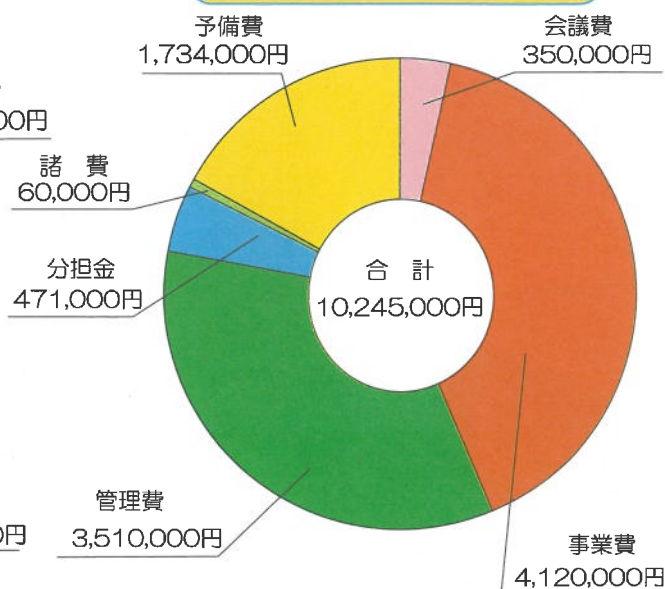
| 項目・支出額                  | 主な内容   |
|-------------------------|--|
| <b>会議費</b><br>319,620   | 理事会 5回 284,566<br>総会等 1回 34,054<br>幹事会 1回 1,000  |
| <b>事業費</b><br>3,970,382 | 研修費 3回 342,269<br>大会費(茨城大会) 286,203<br>専門委員会費 444,166<br>手をつなぐ子らの作品展費 320,000<br>組織強化費 408,588<br>啓発推進費 582,111<br>代表者派遣費 474,750<br>団体助成費(特別支援教育研修部) 480,000<br>本人部会育成費 220,117<br>相談員研修事業費 412,178 |
| <b>管理費</b><br>3,225,769 | 旅費 22,630<br>需用費 234,609<br>役員費 120,156<br>人件費 2,665,110<br>借用損料 183,264   |
| <b>分担金</b><br>470,200   | 全国育成会連合会分担金 330,000<br>全国育成会全国大会分担金 53,000<br>関プロ川崎大会分担金 33,000<br>特別支援教育推進連盟 30,000<br>県社協 15,000<br>県社協予対協力金 1,200<br>スペシャルオリンピックス日本・茨城 5,000<br>権利条例を作る会年会費 3,000                                 |
| <b>諸費</b><br>776,209    | 山梨県育成会木村前会長弔電生花代 1,490<br>高橋 等様葬儀香典・生花代 26,200<br>7月豪雨義捐金 428,703<br>北海道胆振東部地震義捐金 314,816<br>社会福祉士全国大会協賛金 5,000  |
| <b>予備費</b><br>計         | 0<br><b>8,762,180</b>  |

# 令和元年度予算概要

## 一般会計収入の部グラフ



## 一般会計支出の部グラフ



期間 自：2019年4月1日  
至：2020年3月31日  
単位：円

### 【一般会計収入の部】

単位：円

| 項目・収入額                  | 主な内容   |   |
|-------------------------|--|---|
| <b>会費</b><br>3,400,000  | 地域育成会 41会<br>福祉協会<br>特別支援教育研究部<br>知的障害特別支援学校       | 3,237,000<br>10,000<br>134,000<br>19,000  |
| <b>補助金</b><br>860,000   | 県福祉団体補助金<br>県福祉団体等支援補助金                            | 360,000<br>500,000                        |
| <b>委託金</b><br>585,000   | ボランティア活動参加促進事業<br>相談員活動強化事業                        | 155,000<br>430,000                        |
| <b>助成金</b><br>719,000   | 共同募金助成金<br>地方活動助成金<br>いばらき障害者サポート協会                | 350,000<br>219,000<br>150,000             |
| <b>寄付金</b><br>2,125,000 | 茨城県PTA連絡協議会<br>茨城県遊技業協同組合<br>茨城新聞文化福祉事業団<br>心のとち運動 | 100,000<br>25,000<br>150,000<br>1,850,000 |
| <b>雑収入</b><br>11,442    | 災害義援金等<br>預金利息                                     | 10,000<br>1,442                           |
| <b>繰越金</b>              | 正味財産平成30年度末残高                                      | 2,544,558                                 |
| <b>計</b>                |  | <b>10,245,000</b>                         |

### 【一般会計支出の部】

単位：円

| 項目・支出額                  | 主な内容   |  |
|-------------------------|--|--|
| <b>会議費</b><br>350,000   | 理事会<br>総会等   | 290,000<br>60,000  |
| <b>事業費</b><br>4,120,000 | 研修費<br>大会費（茨城大会）<br>専門委員会費<br>手をつなぐ子らの作品展<br>組織強化費<br>啓発推進費<br>代表者派遣費<br>団体助成費（特別支援教育研究部）<br>本人部会育成費<br>相談員研修事業費 | 400,000<br>400,000<br>550,000<br>240,000<br>480,000<br>580,000<br>450,000<br>360,000<br>230,000<br>430,000 |
| <b>管理費</b><br>3,510,000 | 旅費<br>需用費<br>役務費<br>人件費<br>借用損料  | 50,000<br>400,000<br>195,000<br>2,666,000<br>199,000   |
| <b>分担金</b><br>471,000   | 全国育成会連合会<br>全国大会<br>関プロ大会<br>関プロ連絡協議会<br>県社協<br>特別支援教育推進連盟<br>権利条例をつくる会<br>予算対策委員会<br>スペシャルオリンピックス日本・茨城          | 330,000<br>53,000<br>30,000<br>3,000<br>15,000<br>30,000<br>3,000<br>2,000<br>5,000                        |
| <b>諸費</b><br>60,000     | 慶弔費等   | 60,000   |
| <b>予備費</b>              |  | 1,734,000  |
| <b>計</b>                |  | <b>10,245,000</b>  |

# 「人とのつながり、連携を図ろう」

育成会がその先頭に — 矢野会長 総会で強調

皆様、おはようございます。また、本日の総会に出席をいただきましてありがとうございます。

新時代・令和元年度総会にあたり、皆様には、日頃より県育成会の活動・運営にご協力・ご支援をいただきまして、心より感謝申し上げます。

今年の10月に「いきいき茨城ゆめ大会、障がい者スポーツ全国大会」が茨城で実施されることもあって、フライングディスク大会の予選会が、昨年より各地で行われましたので、私は、あいさつと応援のため、3回ほど見学いたしました。その際、競技の運営・進行が非常に素晴らしいと感じました。特別支援学校の先生方やスタッフの生徒たちの連携・協力がたいへんスムーズである。フライングディスク協会が全国的な組織で、組織そのものがしっかりしているが、それ以上に、スタッフの方々がやるべきことを明確に把握して、連携を保ちながら、競技を進めている。3回応援に伺ったが、その都度、人と人とのつながり・連携が実によくできていることを認識しました。

一方、われわれの上部団体の全国手をつなぐ育成会の全国大会が、2月23日・24日の2日間、京都で行われましたが、その折、基調講演を精神科医の北山修先生が行ないました。年配の方をご承知でしょうが、北山先生は、「帰ってきたヨッパライ」とか「あの素晴らしい愛をもう一度」の作詞をされた方です。その講演の中で、北山先生は、「日本には、昔から、人と人とのつながり・連携を大切にしてきたという文化があった」と言われました。

その北山先生は、明治時代の浮世絵師である小林清親が描いた「両国花火絵図」という大きな浮世絵を題材にして話をされた。その絵の中には、花火を見ている人たちがずっと横につながっている状態が描かれている。その方々がよくつながり連携している光景である、と先生は精神科医の立場から話をされたわけです。

私たちは、障害のある人が安心して生活出来ることを守るための活動をしている人間として、横のつながり、結びつき、連携を図って行くためにどうすればよいかと思い、私は非常に興味を持って北山先生のお話を聞きました。

障害の問題は、これまで、基本的にほとんどすべてを行政にお任せするという形ではありましたが、今私たちを取り巻く環境は、国の施策の中にも表現されているように、「我が事、丸ごと」ということで、地域で障害者を支えていきなさいという方向へ、大きく動きつつあります。まさに、横と横、人と人とのつながり・連携の大切さが強調されてきているのではないかと、私はとらえています。

本日ここにお集まりの皆さんは、日頃いろいろとご近所の方々、友人たちなどとのつながりを持っていらっしゃるでしょうが、今後については、その“横とのつながり”をどう図るかの運動に関しては、茨城県手をつなぐ育成会がその先頭に立ちたいと考えています。

これからも、皆様方のご支援・ご協力をいただきながら、会長として県育成会の運営を進めて参りたいと考えています。

本日の総会よろしく願いいたしまして、ごあいさついたします。



総会であいさつする矢野会長



質問に立つ出席者



あいさつする新任理事のおふたり

# いきいき茨城ゆめ国体2019を応援しよう!!

## いきいき茨城ゆめ大会2019

第19回全国障害者スポーツ大会

翔べ 羽ばたけ そして未来へ

2019年10月12日(土)～10月14日(月)に開催されるいきいき茨城ゆめ大会2019に知的障害の方が出場する4つのオープン競技があります。お近くの会場で応援しましょう。



グラウンド・ゴルフ  
(身・知・精)

### 【グラウンド・ゴルフ】

会場：神之池緑地芝広場  
(神栖市溝口)

グラウンド・ゴルフは、子どもから高齢者・障害者まですべての人が、プレーを楽しめる条件を全て備えたスポーツで、1人でも、あるいは場所さえあれば一度に何百人もの人がプレーすることができます。



ハンドアーチェリー  
(身・知)

### 【ハンドアーチェリー】

会場：東光台体育館  
(つくば市東光台)

ハンドアーチェリーとは、ボード(的)に針のついていないピンをあて、得点を競うスポーツで、子どもから高齢者・障害者まで安全に安心して楽しめるよう配慮されています。



卓球パレー  
(身・知・精)

### 【卓球パレー】

会場：取手グリーンスポーツセンター  
(取手市野々井)

卓球パレーは、障害の重い人も軽い人も、視覚・聴覚・肢体・知的の障害のある人も、障害のない人も、また年齢を問わず誰でも簡単に参加することができる競技です。



スポーツウエルネス吹矢  
(身・知・精)

### 【スポーツウエルネス吹矢】

会場：たつのごアリーナ  
(龍ヶ崎市中里)

スポーツウエルネス吹矢は、5～10m離れた円形的に腹式呼吸を使って5本の矢を放ち、その合計得点を競い合うスポーツです。

## 今年も「ワークショップ」で研修しよう!

— 第1回講師に 堀江まゆみ先生

権利擁護委員会

ここ数年、権利擁護委員会が中心となって開催してきたワークショップ形式の研修会がそれぞれ優れた講師と熱心な参加者たちのおかげで、好評を博してきました。平成29年度は「障害のある子を残して、あなたは安心して死ねますか?」、30年度は「障害者が安心・安全に生涯を暮らせるには、家族はどうすれば良いか?」の年間テーマのもと、ワークショップ形式(前半:講師による講演 後半:出席者を10名程度の集団に分け、その日の講演内容について話し合い・討議する)による研修を行いました。

さて、今年も、「障害のある人の自己決定支援と課題」の年間共通テーマで2回開催されます。8月23日の第1回は、目下受付中ですので、それぞれの育成会に申し込んでください。会員以外の福祉関係者も大歓迎です。

### 2019年(令和元年)度の研修会予定:

年間共通テーマ「障害のある人の自己決定支援と課題」

#### ①第1回:8月23日(金)

講師:堀江まゆみ氏(白梅学園大学教授)

場所:県総合福祉会館 中研修室

時間:10:00～15:00

参加費:700円(昼食代含む)

#### ②第2回:11月21日(木) 詳細は未定

# 特別支援学校紹介

茨城県内の特別支援学校を順次紹介していきます

## 県立伊奈特別支援学校（つくばみらい市）

本校は、今年度、創立 38 年目を迎える知的障害教育を主とする特別支援学校です。都内への通勤圏でありながら、筑波山を臨む田園地帯に囲まれた自然豊かな環境に位置しています。通学区域は、取手市・守谷市・常総市（水海道地区）・つくばみらい市・つくば市（荃崎地区）で、287 名（小学部：119 名、中学部：75 名、高等部：93 名）の児童生徒が在籍しています。

地域に開かれた学校づくりを進めるため、中高等部の作業製品の販路として、守谷市社協主催の「買ってネットバザール」や、ネクスコ東日本守谷サービスエリアを活用しています。特に守谷サービスエリア福祉事業部とは 3 年前から連携し、サービスエリアの従業員向けに本校教員が研修会講師を依頼され、本校教育や障害者理解について理解啓発を図ってきました。今後は、高等部生の現場実習先や就労先としての可能性も見えてきています。

また、PTA 活動も活発で、ここでは「伊奈特キャラバン隊」を紹介します。PTA 会長を中心に卒業生を含む保護者有志が、障害のある人が暮らしやすい地域づくりを目指して、年に 3 回程度、小中学校の児童生徒や専門学校生などをはじめ、各種地域団体を対象に障害理解講演会を実施しています。知的障害のある子どもたちの生活のしにくさや行動の意味、感じ方などについて、疑似体験を取り入れながら、分かりやすく障害特性や接し方のコツなどを伝えようと努めています。

今後も、地域の人に本校に通う子どもたちの良さをたくさん知っていただき、それにより地域の受け皿をさらに大きく、深くしていきたいと思っています。



田んぼに囲まれ、遠くに筑波山を臨み、校舎の後ろの窓からは走る TX が見えます。



守谷サービスエリアでの販売活動



キャラバン隊パンフレット



「買ってネットバザール」での販売ブース

## 行事予定 (2019. 7月～3月)

| 月   | 日 (曜日)        | 行事予定  |
|-----|---------------|---|
| 7月  | 10日 (水)       | 育成会だより第138号 発行  |
| 8月  | 23日 (金)       | 権利擁護委員研修会 (茨城県総合福祉会館)   |
| 9月  | 25日 (水)       | 茨城県手をつなぐ育成会交流会 (水戸プラザホテル)   |
| 10月 | 2日 (水)        | 第2回知的障害者相談員研修会 (茨城県総合福祉会館)<br>(*日程等、変更になる可能性があります)                                  |
|     | 12日～14日 (土～月) | 第19回全国障害者スポーツ大会 (いきいき茨城ゆめ大会)  |
|     | 23日 (水)       | 第57回手をつなぐ育成会茨城大会 (茨城県総合福祉会館)  |
| 11月 | 9日 (土)        | 第53回手をつなぐ育成会関東甲信越大会さいたま大会   |
|     | 17日 (日)       | 第2回本人部会交流会 (県総合福祉会館)  |
|     | 21日 (木)       | 権利擁護委員会第2回研修会 (茨城県総合福祉会館)   |
|     | 23日～24日 (土～日) | 第6回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会熊本大会 (熊本城ホール)   |
| 12月 | 5日～9日 (木～月)   | ナイスハートふれあいフェスティバル 2019<br>ナイスハート美術展 (5日～9日)<br>発表会 (学校教育の部) (6日)<br>発表会 (一般の部) (7日) |
|     | 10日 (火)       | 育成会だより第139号 発行  |
| 3月  | 10日 (火)       | 育成会だより第140号 発行  |

### 『新任相談員』のごあいさつ

今年の4月より「障害者差別相談室」で相談員をすることになりました。以前は高次脳機能障害支援センターで高次脳機能障害に関する相談に対応してまいりました。相談内容は日常から社会生活に至る様々なものでした。差別相談室においても共通する部分もあるかと思われませんが、障害者の権利擁護に関する相談が中心であり、この事については一から学んでいく必要があると感じています。相談室の皆様の指導も頂きながら戦力となれるよう努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



「障害者差別相談室」  
清水 邦保

4月から「障害者なんでも相談室」の相談員として勤務しております。これまで、特別支援学校に勤務し、また、教育機関に勤務、発達が気になる子の保護者相談や教員の相談、特別支援教育に関する研修等に携わってきました。今までの経験を生かし、相談者の皆様に「自分の気持ちを話してみても良かった。」「話したことで安心できた。」と感じていただける対応を心がけていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



「障害者なんでも相談室」  
立原 雅子

### 編集後記

新時代に入りました。10年後、20年後に、「令和はなかなかいい時代だね」と、その時の人たちが話していることを想像してみます。この「育成会だより」第138号は、「令和初」の発行になります。誌面・内容をより充実させていきたいと、考えています。

5ページの矢野会長の総会でのあいさつをお読みください。総会の場で、大上段に構えた演説を行なうのではなく、出席者一人ひとりに語りかけるような口調で、「人と人とのつながり・連携の大切さ」を力説しています。私は、これを自分の子どもとの関係に置き換えて考えてみました…。

さて、われわれ「育成会だより」の編集部は、今、人手不足に悩んでいます。目下、「35人」程度の陣容で編集を続けていますが、できれば、あと2人増員したいのです。「以前、PTAで広報誌の編集の手伝いをやっていた」とかの経験があれば理想的ですが、まったくの未経験者でもOKです。委細面談の上、です。「ヨシ、口と手を少し出してみようか」という奇特な方がいらしたら、県育成会の事務局にご連絡ください。本気で、期待しています。  
(渡辺 征)